

住み続けたい まちづくりへ前進

医療・福祉・教育施設を充実

9月定例会議

9月定例会議は、9月2日から8日までの7日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、27年度会計の決算認定のほか、28年度補正予算など11件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では3名の議員が登壇し、町への対応や考えをいただきました。また、8日の本会議で1名の議員が緊急質問を行い、台風10号による被害状況や災害復旧の進め方を確認しました。

決算の概要

27年度の一般会計と5特別会計の支出額は10億4949万円で前年度比4億3465万円、4.5%増加しました。

一般会計は、支出総額63億9644万円で前年度比1億4820万円、2.4%の増加です。清掃センター大規模改修工事、総合運動公園多目的グラウンド改修工事などのハード事業の実施が増額の主な要因です。

5特別会計の支出総額は、37億5305万円で前年度比2億8646万円、8.3%増加しました。27年度は、医療・福祉・教育施設のハード事業の整備を進めるなど、安全

で安心な住み続けたいまちづくりに向けて、さらに前進した事業に取り組みました。会計別の決算状況は左の表のとおりです。

27年度決算状況

| 会計名 | 歳入(収入) | 歳出(支出) |
|------------------|------------|------------|
| 一般会計 | 70億5272万円 | 63億9644万円 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険事業 | 13億563万円 | 12億6339万円 |
| 簡易水道事業 | 5億854万円 | 4億9369万円 |
| 農業集落排水事業 | 2億108万円 | 1億9427万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 7142万円 | 6778万円 |
| 国保葛巻病院事業 (収益的収支) | 9億1858万円 | 8億6540万円 |
| (資本的収支) | 8億3553万円 | 8億6852万円 |
| 合計 | 108億9350万円 | 101億4949万円 |

※病院事業会計の決算は、7月定例会議で認定しましたが、特別会計の決算額に含めています。



全天候型トラックで行われた 小中学校陸上記録会

監査委員の意見

27年度決算はすべての会計が黒字です。各種財政指標も改善され、財政運営の健全性が維持されています。社会情勢の変化の影響による、町税などの収入の落ち込みを見据え、今後も健全な行政運営を望みます。

景気の回復が地方まで浸透していない中、普通税と国保税を合わせた町税全体の収納率は昨年度を上回り、また軽自動車税も完納しました。職員

の徴収取り組みに対する、創意工夫の成果が表れています。

本町は、山村の先駆的モデルを目指し、少子高齢化や人口減少などの問題解決に向けた各種施策を精力的に進めています。全国自治体の多くが抱える自主財源不足の財政構造にある中、地方交付税などの財源を活用し、引き続き先ゆく施策の推進を期待します。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく、27年度の一般会計、特別会計、第3セクターの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

●健全化判断比率

| 各指標 | 27年度 | 26年度 | 比較 |
|---------------|------|------|------|
| 実質赤字比率(15%) | 赤字なし | 赤字なし | — |
| 連結実質赤字比率(20%) | 赤字なし | 赤字なし | — |
| 実質公債費比率(25%) | 5.8% | 6.4% | △0.6 |
| 将来負担比率(350%) | なし | なし | — |

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充満可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



決算審査を行う監査委員

●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業のいずれも資金不足は発生していません。